

適応症の比較

シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」

効能・効果が先発品と一部異なります

先発品と同一の効能・効果

〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、腸球菌属、炭疽菌、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、緑膿菌、レジオネラ属

〈適応症〉

敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、炭疽

先発品のみが有する効能・効果

小児：

1. 一般感染症

〈適応菌種〉

本剤に感性の炭疽菌、大腸菌、緑膿菌

〈適応症〉

複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、炭疽

2. 嚢胞性線維症における緑膿菌による呼吸器感染に伴う症状の改善

用法・用量が先発品と異なります

当社品の用法・用量

成人には1回300mgを1日2回点滴静注。（1時間かけて投与）

先発品の用法・用量

成人：

1回400mgを1日2～3回点滴静注。（1時間かけて投与）

小児：

1. 一般感染症

複雑性膀胱炎、腎盂腎炎：

1回6～10mg/kgを1日3回点滴静注。

（1時間かけて投与、成人における1回量400mgを超えないこと）

炭疽：

1回10mg/kgを1日2回点滴静注。

（1時間かけて投与、成人における1回量400mgを超えないこと）

2. 嚢胞性線維症における緑膿菌による呼吸器感染に伴う症状の改善

1回10mg/kgを1日3回点滴静注。

（1時間かけて投与、成人における1回量400mgを超えないこと）